

大刀洗町ドリームまつり
ボランティア団体による展示や出店、だご汁試食や牛乳の無料配布、映画会やビンゴゲーム

開催日 11月12日(土)・13日(日)
場所 吉井町札の辻付近
お宝の市事務局
☎090-9653-3387

ちくご吉井「お宝の市」
国道210号沿いの古美術店が並ぶ「蔵しつ通り」で、九州一円から約50軒の骨董品屋さんも集まり、お宝の市を開催します。お楽しみの一つが、日曜のお昼から行われるオークションです。せりの駆け引きはたまりませんよ。

【うきは市】
久留米市の自然・実り・食・農業にふれる秋のイベントです。地場農産物の物販や、バター作り

かいつねの里
内容 木の工作、紙すき、火おこし、木のしおりなど
※数や時間に制限があるものもあります。
参加費 無料
福岡県工業技術センター
インテリア研究所
☎86-3259

種別	一般医療	救急医療
11月3日(休)		高木病院(酒見) 87-0001
11月6日(日)	本村産婦人科医院(榎津) 86-3603	福田病院(向島) 87-5757
11月13日(日)	大橋医院(津) 87-9868	高木病院(酒見) 87-0001
11月20日(日)	児玉医院(酒見) 86-2373	福田病院(向島) 87-5757
11月23日(水)		高木病院(酒見) 87-0001
11月27日(日)	平川クリニック(榎津) 86-3148	福田病院(向島) 87-5757

久留米市
大会、文化サークルのステージ発表など。試食投票による、地元食材を活かした創作ごはん「たちあらいスコンテスト」も開催します。

久留米市
開催日 11月12日(土)・13日(日)
場所 大刀洗町役場敷地内
大刀洗町企画財政課
☎0942-77-0173

柳坂ハゼ祭り
江戸時代にろうそくの原料として植えられた約200本、1キロメートルのハゼ並木が赤く染まります。沿道の出店には地元特産品が並び、土日祝日は並木道が歩行者天国になります。

田主丸耳納の市
開催日 11月12日(土)・13日(日) 10時～16時
場所 久留米百年公園芝生広場、リサーチセンタービル
ふるさと久留米農業まつり実行委員会
☎0942-30-9163

賢順記念くま全国箏曲祭
筑紫箏の始祖、諸田賢順を記念して開催されるコンクール。新進気鋭の箏曲家が箏演奏を競う全国箏曲コンクールと二流の箏曲演奏家による特別演奏会が開催されます。

賢順記念くま全国箏曲祭
開催日 12月4日(日)、9時30分～16時30分
場所 石橋文化ホール
賢順記念全国箏曲祭振興会事務局
☎0942-30-9224

ちよとものばして 有明イベント情報

荒尾市

秋の感謝祭
日時 11月26日(土)・27日(日)、10時～15時
場所 福祉村(荒尾市社会福祉事業団内グラウンド)
内容 翌檜窯・陶工房リベルテ合同窯開き(全品10%OFF)、花苗、食品バザー、ステージイベント
☎荒尾市社会福祉事業団 0968-62-7931

三遊亭歌之介独演会
日時 11月27日(日)、14時開演(13時30分開場)
場所 荒尾総合文化センター大ホール
入場料(全席指定) 一般=2,500円(当日=3,000円)、※未就学児の入場はできません。
☎荒尾総合文化センター 0968-66-4111

催し
エンジョイ秋の里山ハイキング
日時 11月13日(日)、9時30分集合(9時45分出発)～15時帰着予定
集合場所 ふれあいの家
対象 小学4年～6年生
内容 お牧山(標高405m)登山(みやま市)
定員 20人(先着順)
参加費 無料
※弁当が必要な人は、五百円が必要です。

福祉のつどい
「福祉」と「健康」についてより多くの人に関心を深めてもらうため「福祉のつどい」を開催します。
日時 11月27日(日)、12時30分(受付12時15分)
会場 市文化センター大ホール・展示ホール
内容 ●式典●表彰式●講演
●世界三元気な105歳が実践する十大「習慣健康法」、講師


久留米市
開催日 11月5日(土)、10時～16時
場所 インテリア研究所(市立図書館横)
対象 幼児、小学生およびその保護者

大川市立清力美術館
大川市大字鐘ヶ江77番地16 ☎0944-86-6700
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、および年末年始
入館料 無料
◆第102回◆
作品 「稲に鳥図」 品質 紙本淡彩 法量 50.5×40.0cm
時代 江戸時代 作者 北海
銘文等 「五ノ十七ノ五更鳴」「鄱陽北海摸寫」 朱字方印一顆
◎大川市立清力美術館所蔵 作品・作者紹介◎

久留米藩御用絵師画稿「稲に鳥図」
この図は銘文に「五更鳴」とあり、時は午前4時、夜の終わりで朝の始まり、まだうす暗いなかで忙しく鳴き始め、活動したした鴉と思われる2羽が稗をついばもうとしている。同じく銘文の「鄱陽北海摸寫」とは、長江下流の中国最大の淡水湖、鄱陽湖近くに住む北海という人が描いた画の写しと解され、画風は中国院体画の一つ、細かな輪郭線による区画に色を埋める法による細密描写に重きを置く画法である。模写したのは三谷家分家五代・六代に該当すると思われる。江戸時代中国からはいつてきた絵は、有名な画家の絵と共に大多数の写し崩れつまり完品でないのも多数だった(識者談)。御用絵師はその中から日々研鑽し、いつでも使える手控えとして模写したもので特に名は墨書きしていないと思われる。

第18回福岡県農林水産まつり
「がんばろう日本 ふるさと福岡ふれあいフェア2011」
みなさんの農林水産業に対する理解を深め、豊かな農山村を築き、みんなの「ふるさと福岡」を育てるため、県民参加の祭典として開催します。
開催日 11月19日(土)・20日(日)
場所 県営天神中央公園、アクロス福岡
内容 ●農林水産特別功労者等の表彰●県内農林水産物の展示・即売など●同時開催「ふるさと」の食につぼんの食「福岡フェスティバル」
福岡県農業水産まつり運営委員会事務局
☎092-643-3486

諷上美術館



大川市立清力美術館
大川市大字鐘ヶ江77番地16 ☎0944-86-6700
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週月曜日(休日の場合はその翌日)、および年末年始
入館料 無料
◆第102回◆
作品 「稲に鳥図」 品質 紙本淡彩 法量 50.5×40.0cm
時代 江戸時代 作者 北海
銘文等 「五ノ十七ノ五更鳴」「鄱陽北海摸寫」 朱字方印一顆
◎大川市立清力美術館所蔵 作品・作者紹介◎

久留米藩御用絵師画稿「稲に鳥図」…この図は銘文に「五更鳴」とあり、時は午前4時、夜の終わりで朝の始まり、まだうす暗いなかで忙しく鳴き始め、活動したした鴉と思われる2羽が稗をついばもうとしている。同じく銘文の「鄱陽北海摸寫」とは、長江下流の中国最大の淡水湖、鄱陽湖近くに住む北海という人が描いた画の写しと解され、画風は中国院体画の一つ、細かな輪郭線による区画に色を埋める法による細密描写に重きを置く画法である。模写したのは三谷家分家五代・六代に該当すると思われる。江戸時代中国からはいつてきた絵は、有名な画家の絵と共に大多数の写し崩れつまり完品でないのも多数だった(識者談)。御用絵師はその中から日々研鑽し、いつでも使える手控えとして模写したもので特に名は墨書きしていないと思われる。